

平成28年度 8月定例会会議録

◎招集年月日 平成28年8月17日（水）

◎開催日時 平成28年8月26日（金） 午後3時～午後5時37分

◎場 所 伊那図書館 視聴覚室

◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、原田教育委員、田畑教育委員

◎欠席委員 なし

◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、北野学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員の一言（原田委員）

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長報告
- ・委員長から、中国の教育視察団には、長谷小の全校音楽や東部中の給食、授業、清掃の様子を見て感心していただいた。領土問題を巡って緊張関係にある両国関係に対して、地道な交流によって民衆から和合していく関係構築の一助になればありがたい。長谷小では書道の授業で、中国の方が児童を指導してくれたとの新聞報道があり、忘れられない交流になったと思うとの感想が述べられた。

全委員（なし）

第2 協議事項

（1）教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について

- ・関係分について、資料に基づき学校教育課長説明
- ・委員長から、伊那市の教育理念「はじめに子どもありき」を受け、「総合的な学習」事業の目的の「伊那市らしい総合的な学習」の記述を、「子どもの求めや願いを大事にした伊那市らしい総合的な学習」というように具体的に書いた方がいいとの指示があった。
- ・また、「学力向上」事業の方向性の中に、家庭学習あるいはドリル学習の充実を図るといった項目を入れた方がいいとの指示があった。
- ・さらに「幼保小中の連携」事業では、幼保小連携プログラムを作成して取り組み

を進めているが、実施状況と活動の評価はどうなっているか記述するよう指示があった。

- ・「幼保小中の連携」事業について、委員から、「幼保小中」とされているのに、目的で中学校について触れられていないとの指摘があった。
- ・委員長から、「特別支援教育」事業に関連し、通常、情障学級在籍児童は学年が上がり未分化の段階から分化していくにつれ通常学級に戻り減っていくものだと思うが、逆に増えている。他の地域と比較し理由を分析する必要があるとの見解が示された。
- ・教育長より、全国的に小学校における特別支援学級の在籍者数の割合が上昇しているが、全国では学年が上がるにつれ割合は低下していく。伊那市の場合、上昇傾向にあり、通常学級に戻り減っていくことを願っている。特に注意をしていきたいとの説明があった。
- ・委員長から、「高等学校支援」事業の方向性で、「コース制を導入する等、『高遠学園構想』に基づく特色ある学校運営を行っています。」とするなど、『高遠学園構想』を是非入れるよう指示があった。

- ・関係分について、資料に基づき生涯学習課長及び文化振興課長説明
- ・委員長から、「桜大学」と「長谷生涯学習講演会」事業の自己評価を a から b にしたのは、「市民大学」事業との均衡を考慮してのことか質問があり、生涯学習課長より、生涯学習課においては、事業に課題があるものについて b 評価としているので、そうした理由で b 評価としたとの説明があった。
- ・委員長から、課題があると b 評価になるのか、「桜大学」事業の課題は何か質問があり、生涯学習課長より、「桜大学」について徐々に受講者が減ってきている。また、魅力ある講座の開催という部分で少し工夫が必要であるとの説明があった。
- ・委員長から、参加した「桜大学」では、人口規模・夜の開催であるにもかかわらず、多くの受講参加があり、文化レベルの高さを感じたとの意見があり、生涯学習課長より、自己評価は課題があるという思いで記入したもので、「親孝行の讃歌」事業とともに a に戻したいとの説明があった。
- ・委員長から、「図書館分館」事業の方向性で触れられている休室日の解消は可能か質問があり、文化振興課長から、今のところ具体的な動きはなく、問題を再度把握、検討するとの説明があった。
- ・委員長から、「はなまる探検隊」事業は他事業に移行したのか、あるいは全くゼロに戻したのか質問があり、生涯学習課長より、基本的にはゼロに戻した。「はなまる探検隊」で育った高校生や大学生、社会人からは、やめて欲しくないという願いもあるとの説明があった。
- ・生涯学習課長より、事務所を引き払わざるを得ない状況で、指導者も高齢となり事業廃止には納得しているが、キャリア教育担当教諭等からは「はなまる探検隊」で培った縦のつながりを活用したいという意見があったとの補足説明があった。
- ・委員長から、「おいで塾」に参加した子どもたちが高校生になり、今度はボランティアで参加する、「はなまる探検隊」の精神がそうした活動に生きてくればいいとの感想が述べられた。
- ・また、「少年補導委員会」「子ども会」事業について、長野県の淫行処罰条例が

できたことを受けて縮小することなく、中学生が殺人を犯すといった社会的な状況を踏まえ、こうした組織がより一層活躍できるようお願いしてもらいたいとの指示があった。

- ・委員長職務代理者から、「創造館」事業では、参加者について「延」で表示されているが、例えば「桜大学」の受講者については、延べなのかわからない。コアなファンが繰り返し来ているのか、新しい人が来ているのかが分かればそれによって取るべき対策が違ふと思う。数字は延べにした方が理解しやすいのではないかとの意見があり、文化振興課長より、連続講座があり延べと表示しているとの説明が、生涯学習課長より、確認し延べなら延べと表示したいとの説明があった。
- ・委員長から、「史跡高遠城跡」事業で、近隣の市民から「今のように高遠公園の桜の木を切っていくと、やがて古木が枯れてしまう。」「やり方が違うのではないか。」と言われたが、整備事業の方法は適正か質問が出され、生涯学習課長より、城址公園の桜の管理は、基本的には観光部局で担っており、桜専門委員会、振興公社の桜守などが計画、実行している。弘前城の桜の管理では根元を管理できるように土壌改良等にも取り組んでいるようなので、観光関係者と協議、検討していきたいとの説明があった。
- ・委員長職務代理者から、「旧馬島家」「旧池上家」事業について今後の活用方法が見えてこないとの意見があり、文化振興課長より、町内を回遊してもらえような企画を考えたいとの説明があった。
- ・関係分について、資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、「市民体育祭」事業の山岳部門について、山岳の街伊那市を標榜するには参加人員が20人前後と少ないが対策を立てているか質問があり、スポーツ振興課長より、毎年登る山を変えて実施しており、市内だけでなく市外の北アルプス、八ヶ岳などの山岳にも足を運んでいる。今年度は、南アルプス塩見岳を予定しており、多くの皆さんに参加していただけるようPRしていきたいとの説明があった。
- ・委員長から、「春の高校伊那駅伝」事業のテレビ放映が全国放送になったことは朗報中の朗報であるとの感想に、スポーツ振興課長より、昨年から放送局が長野放送に変わりキー局がフジテレビになったことから、BSフジが協力してくれることになった。BS放送ではあるが全国放送が叶った。それに伴い広告料収入にも影響が出てくるため、そうしたことを含め安全な大会運営をしていきたいとの説明があった。
- ・委員長から、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について今後のスケジュールを問われ、学校教育課長より、指摘の内容を修正し、9月の定例教育委員会で確認していただいたうえで、外部評価員に評価依頼するとの説明があった。

第3 報告事項

(1) 伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」1学期のまとめについて

- ・資料に基づき指導主事説明

- ・教育長から、『(ウ) 農業活動は総合学習。教科の芽を育み、教科学習へと発展させ、質の高い活動に』に記載の、学習をやりやすいように作物を育てる、観察記録のデータ化によって学習につなげるというのは逆の思考であり、考えていきたいとの発言があり、委員長から、(ウ) は、子どもたちが「暮らしのなかの食」の活動でどういうことに気づき、その気づきがどのように広まりや深まりを見せていくかという視点で書いてもらいたいとの指摘があった。

- (2) 公民館「おいで塾」の実施報告について
- (3) 第30回伊澤修二記念音楽祭について
- (4) 伊那地区成人式の実施報告について
- (5) 蕪崎市との文化交流事業への参加について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
- ・蕪崎市との文化交流事業への参加教育委員は原田委員で調整された。

- (6) 第3回信州いなクロスカントリーレース・第6回伊那市トリムマラソン大会について
- (7) 第34回市民駅伝イーナちゃん駅伝カーニバルについて

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

- (8) 共催・後援について

- ・資料に基づき学校教育課長説明
(質疑なし)

- (12) その他

- ①東ティモール特命全権大使によるスポーツ施設の視察について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
(質疑なし)

- ②総合教育会議について

- ・学校教育課長より、初めて行われる伊那中学校の公開授業についての情報交換と、キャリア教育の2点を議題としたいとの説明があった。
- ・委員長から、先日行われた市議会議員と地域住民との懇談の中で、「『子育て日本一のまち』と言われるが実感がない。何をもちてそう言うのか。」という意見が出た。教育は子育ての中核になるという意味で『子育て日本一のまち』の教育について整理しておく必要があると思う。『子育て日本一のまち』の伊那市の教育について、意見交換しておくことが必要ではないかとの発言があり、委員長職

務代理者から、掘り下げていくと哲学的な話になると思う。時間を十分取ることが難しいのではないかと思うが1回は整理しておいた方がいいとの意見が出され、教育長より、子育て日本一の出典は「田舎暮らしの本」であり客観データがある。それぞれの項目について見ていけば具体がはっきりすると思う。そうした情報は共有しておく必要があるとの説明があった。

- 学校教育課長より、中学生サミットの中で、キャリア教育を受けた後の生徒アンケートで「伊那市に住みたい」とした生徒の割合が7割と大きく上昇したことが報告されたことから、キャリア教育の展開について話をしたいとの市長の希望があるとの説明があった。
- 事務局提案のとおり、伊那中学校の公開授業、キャリア教育の2点を協議事項とすることで調整された。

5 その他（教育次長）

（1）9月の日程について

（2）10月の主な日程について

- 長野県市町村教育委員会研修総会 10月14日（金） 午前9時30分
- 10月定例教育委員会 10月27日（木） 午後1時30分
- 市議会総務文教委員と教育委員との懇談会
10月27日（木） 午後3時30分 懇親会あり
- 第30回伊澤修二記念音楽祭 10月29日（土） 午前9時

6 閉 会